注）１．本学が有している土地（3,520,858,854円）を国立大学財務・経営センター長期借入金（9,672,620,000円）の担保に供しております。

２．当該事業年度末における債務保証の総額は4,219,588,003円であります。

３．運営費交付金から充当されるべき退職給付の見積額は9,820,781,977円であります。

４．運営費交付金から充当されるべき賞与の見積額は814,821,506円であります。

５．利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するものは以下であります。

①国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの。

・附属病院に関する借入金の元金償還額の累計　5,290,067,273円

・当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計　3,997,460,928円

・利益剰余金に与える影響額（差引き）　1,292,606,345円

②国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの資産見返物品受贈額戻入が二重になっていることによるもの

・法人移行時に国から承継した資産見返物品受贈額のうち、対応する資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する資産見返物品受贈額戻入額の累計　539,636,351円

③国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの

40,349,170円

④国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの

371,010,760円

2,243,602,626円

６．積立金の国庫納付等

前中期目標期間最終年度の積立金の期末残高は2,889,604,595円であり、これに前中期目標期間の最終年度の未処分利益1,967,774,144円及び教育研究・組織運営改善積立金の期末残高1,963,500円を加えると、積立金は4,859,342,239円となります。

この積立金4,859,342,239円のうち、今中期目標期間の業務の財源及び固定資産の見合い等として繰越の承認を受けた額は4,062,035,162円であり、差し引き797,307,077円については国庫に納付しました。

損　益　計　算　書

（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（単位：円）

経常費用				
業務費				
教育経費		1,238,869,770		
研究経費		1,324,317,601		
診療経費				
材料費	5,756,837,166			
委託費	1,036,391,436			
設備関係費	2,304,053,401			
研修費	5,143,717			
経費	628,957,398	9,731,383,118		
教育研究支援経費		448,506,688		
受託研究費		588,043,190		
受託事業費		144,887,426		
役員人件費		91,932,564		
教員人件費				
常勤教員給与	6,179,775,230			
非常勤教員給与	673,837,462	6,853,612,692		
職員人件費				
常勤職員給与	4,892,195,596			
非常勤職員給与	2,834,762,157	7,726,957,753	28,148,510,802	
一般管理費			574,714,251	
財務費用				
支払利息		277,879,533		
その他財務費用		38,812	277,918,345	
経常費用合計				29,001,143,398
経常収益				
運営費交付金収益			9,237,803,437	
授業料収益			2,940,334,201	
入学金収益			395,822,700	
検定料収益			117,500,700	
附属病院収益			15,102,170,796	
受託研究等収益				
国又は地方公共団体からの受託研究等収益		103,850,050		
その他の受託研究等収益		495,655,907	599,505,957	
受託事業等収益				
国又は地方公共団体からの受託事業等収益		38,189,474		
その他の受託事業等収益		108,859,244	147,048,718	